

# 青木まさしは目指します。

自由民主党  
市政報告  
2020年秋号

皆様の負託を受け、ご指導のもと3期目の議席をお預かりしています。今後も、市民交流・地域のコミュニケーション、防災・減災に関わり、一隅を照らす力になれるよう、よりよい大和をつくっていくため、市民の皆様とともに取り組んでまいります。2020年9月議会での一般質問の意見要望の一部をご紹介します。



## ■複合災害・防災訓練について

防災対策においては、単独による災害だけではなく、同時多発的に複合型の災害が発生する可能性があることを想定の中に入れ、対策をしっかりと構築することが重要です。高齢者など避難弱者への周知は欠かすことができません。今後は、多様な災害想定と併せたウイルスなどの感染症に対する訓練、特に避難所での密や感染を回避し、限られたスペースでの生活をするための訓練や、非常持ち出し品や備蓄品を使用した実践的な訓練が必要です。



平時はもとより、災害時も地域と学校との連携はとても重要で、教育現場の理解が不可欠です。以前より学校における防災訓練について一工夫加えた内容をと提案してまいりました。校外キャンプや校内キャンプの際に、災害時の生活を体験できるカリキュラムの導入を検討・実行することを提案しました。災害時に備えるものとして主な非常持ち出し品、

一次持ち出し品、災害発生時すぐに持ち出すものに、マスクや非常食、飲料水など明記されています。そこで、教育現場に日頃から非常持ち出し品や備蓄品を備えること、市民への徹底周知すること、および少年消防団は、地域の防災リーダーの育成を目的としております。地域の方々や大人の消防団との交流、合同訓練を取り入れ、その経験が将来、大人の消防団員への入団の契機になれば、団員不足の解消にもつながるので検討することを提案しました。災害時の避難行動については、早め早めの命を守る行動を取ることで、一目で安否確認が分かるグッズなど、そのような便利なグッズなども市民へ紹介すること。一歩先を見据えた対応を検討すること。以上について提案し、要望しました。

## ■感染症対策について

感染症対策の取組においては症状のある方を早期に発見し、隔離することが大変重要となります。特に免疫力が低下した方や、抵抗力の低い御高齢の方などが受診する医療機関、あるいは傷病者を救急搬送する際には、感染拡大を防ぐための事前判別の取組の重要性がより一層増すものと考えます。新型コロナウイルスに対する対応を踏まえて質問しました。公共施設の利用において、感染症対策をどの程度まで行うかは、種々検討を要するところですが、発熱している方を早期に発見し、治療につなげるため、また、感染を拡大させないためにも、検温等の事前判別の取組は最も基本的で、重要な取組と考えます。今後もきめ細やかな対策を積極的にスピード感を持って展開していただくことを強く要望しました。



厚生省ホームページより引用

## ■熱中症について



消防庁熱中症予防啓発より引用

今年の夏も各地で気温が35度を超える猛暑が観測されています。この暑さを底上げしているのが、地球温暖化やヒートアイランド現象だと言われ、これらは様々な要因から生じる複合現象と考えられています。また、夜間はこれらの蓄熱が放出により気温は下がらず、熱帯夜が続くこととなります。そこで熱中症についての取り組みなどについて、質問しました。

猛暑の影響は水分の摂取不足による脱水症状から血液がどろどろの状態となり、脳梗塞や心筋梗塞の原因となることも指摘され、熱帯夜の影響は昼間の活動にも影

やさしい・活力ある大和を  
地域でのコミュニティを大切に

大和市議会議員 青木まさし



青木まさし  
ホームページ QRコード

響を及ぼします。熱中症は、御高齢の方や乳幼児などにとっては発症のリスクが高く、特に注意が必要です。公共施設内の敷地や道路、公園などを利用し、熱中症を防ぐことが可能な資材の実証実験を手がけること。さらに、熱中症を予防する施策の充実を要望しました。

### ■リサイクルステーションについて

コロナ禍においてステイホームなど外出自粛が広く呼びかけられ、多くの市民の皆さんが、コロナへの感染防止の観点から外出を控えられてきたことと思います。自粛期間中に大掃除をした、家庭で大工仕事をしたなどよく耳にしました。この時期、ニュースでもよく取り上げられたコロナ禍の元での家庭ごみの動向について質問しました。



今年、外出を控え、自粛し、自宅にいた期間に、各御家庭では、これを機会にと大掃除が行われた結果、多くの不要となったものが排出され、リサイクルステーションにあふれ、一部ですが、マナーの悪さが気になり、自治会での対応も限界だと考えます。このままマナーの改善がない場合、収集業務に携わる職員や委託業者の負担が増え、さらには、自治会の役員の方への負担が多くなり、結果、戸別での収集対応の検討も必要となると考え、マナーの改善に対する施策の充実を求めました。

### ■大和の商業について

横浜市にテーマパーク構想が持ち上がり、大きな話題となっています。候補地は、旭区、瀬谷区の米軍跡地、旧上瀬谷通信施設で約242ヘクタール、東京ドーム約52個分もの広大な土地です。この土地を区画整理し、都市農業の振興や観光、にぎわい創出に活用する計画があります。昭和15年頃、当時の上瀬谷通信施設内に、我が国の海軍施設である横須賀海軍資材集結所があり、物資を輸送するために建設された海軍用の道路だったことから、現在も海軍道路と呼ばれる道路が候補地の真ん中を一直線に貫いています。花見の名所として知られ、桜の季節には多くの花見客でにぎわいます。この候補地付近は、東名高速、国道16号、246号、中原街道、厚木街道、環状4号など重要な幹線道路が集中しており、将来的に横浜市のうち年間1,500万人が訪れるまちづくりを実現するのであれば、今後、綿密な道路計画が必要です。そこで、隣接市である本市として何か協力はできないのか、まちの活性化に生かすことはできないのか質問しました。

本市の近隣において計画されている上瀬谷通信隊の跡地利用、このビッグプロジェクトは、本市にとっても地域活性化や産業振興に明るい話題と影響をもたらす、またとないチャンスです。横浜市は、9月11日に開催された建築・都市整備・道路委員会において、上瀬谷通信施設跡地のまちづくりの取組状況の報告において、土地区画整理と駅から候補地までを結ぶ全自動無人運転（AGT）方式の新交通、（仮称）都市高速鉄道上瀬谷ラインを国際園芸博覧会の開催を目指す2027年3月までに導入する意欲を示しました。

商業においては、市と大和商工会議所との連携、情報の共有、二人三脚で取り組むことが必要であり、とても重要と考えます。大和には知恵があり、柔軟な対応ができるすばらしい事業主が多くあります。ぜひ大和商工会議所との連携を強く、太くしていただくことを要望しました。

上瀬谷通信隊の跡地利用について、まだ形が見えない中、本市として、

- 1、新しいテーマパークについて、常にアンテナを高く張り巡らせ、地域振興に寄与できる情報を入手すること。
- 2、本市として横浜市や相模鉄道との協議を行うこと、大和商工会議所、横浜商工会議所との連携を取ること。
- 3、来場者による交通渋滞などが予想され、本市に影響が及ぶと思われる路線と、その交通渋滞の対応と対策を予測、検討し、市民生活への影響を最小限に抑えること。
- 4、海軍道路と並行して本市内には7駅があり、候補地と市内の駅を結ぶバスなどの乗り入れを検討すること。
- 5、博覧会が開催された場合など、本市の商業利益が最大限生まれるよう、来場者が大和に立ち寄りたいたいと思うイベントや観光資源を商工会議所と連携して整備を行うことなど、本市をさらに活気づけ、市民生活を潤すチャンスを逃さず対応すること。以上について取り組むことを提案し、要望しました。

横浜市の隣人である本市が官民連携した交通、商業など、今から着々と支援体制を準備して、しかるべきときにすぐに対応できるよう備えておくべきで、市長同士の協力体制を県下、全国にアピールできる協定をぜひ結んでいただくこと、そして、事業主からの声を待つのではなく、こちらから積極的に働きかけること、以上について強く要望しました。

\*\*\*\*\*



今後も私の議員活動を皆様に発信しつつ皆様の暮らしが、心が♡ホッとあたたまる、そして活力ある♡ホットな街を目指して、市民目線を大切にしたい議員活動に取り組んでまいります。

- ◆ご意見・ご要望はメールでも受付中：info@fujishouji.co.jp
- ◆一般質問動画：http://www.yamato-city.stream.jfit.co.jp/
- ◆青木まさしホームページ：https://www.aoki-masashi.jp/

討議資料

**青木まさし 連絡先**  
〒242-0021  
大和市中央1-1-18  
TEL 046-262-2166  
FAX 046-263-2158